



2024年7月26日

各位

会社名 Green Earth Institute 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 伊原 智人
(コード番号: 9212 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 浦田 隆治
(TEL 03-5315-0531)

NEDO バイオものづくり革命推進事業 (第2回公募) に
「純国産木材バイオリファイナリーによる
世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」の採択決定

当社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）が公募した「バイオものづくり革命推進事業」の第2回の公募において、日本製紙株式会社（以下「日本製紙」）とともに「純国産木材バイオリファイナリーによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」事業を応募しておりましたが、今回その実施予定先として採択されましたことお知らせいたします。

バスケット条項のその他の重要な発生事実の開示基準に該当することが見込まれますため開示いたします。なお、最終的な補助金の金額及び計上時期については、NEDOからの交付決定通知により判明次第、本件の当社業績に与える影響を含め開示いたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

2024年7月26日

Green Earth Institute株式会社

NEDO バイオものづくり革命推進事業（第2回公募）に
「純国産木材バイオリファイナリーによる
世界最高クラスの低炭素バイオエタノール^{※1}生産プロセスの開発」の採択決定
～脱炭素社会の実現、エネルギーの安全保障及び国富流出の抑制に向けて、
国産木材を原料とした第二世代バイオエタノール^{※2}の生産実証を実施～

Green Earth Institute株式会社（以下「GEI」）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）が公募した「バイオものづくり革命推進事業（第2回公募）」において、日本製紙株式会社（以下「日本製紙」）とともに「純国産木材バイオリファイナリーによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」事業を応募しておりましたが、今回その実施予定先として採択されました^{※3}。本事業は、日本製紙を代表提案者として、GEI が共同提案者となり、提案したものです。

本事業は、GEI、日本製紙及び住友商事株式会社が2023年2月3日に発表した「木質バイオマスを原料とする国内初のセルロース系バイオエタノール商用生産およびバイオケミカル製品への展開に向けた協業に関する基本合意書」（以下「基本合意書」）^{※4}に基づき、3社で推進してきたものです。

本事業では、GEIが開発した生産プロセスにより、日本製紙の工場内で国産材由来のバイオエタノールを商用生産することを目指して、セミコマースプラント及びコマースプラントを建設し、生産実証を実施します。当該バイオエタノールは、SAF^{※5}の原料やプラスチック原料として提供する予定です。

本事業が採択されたことにより、国産材を活用した、純国産セルロース系バイオエタノール商業プラントの実現に向けて、大きく進展することになりました。

GEIとしても、本事業を通じて、脱炭素社会の実現、エネルギーの安全保障及び国富流出の抑制に貢献してまいります。

- ※1 現在世界中で使われている北米のトウモロコシ由来のバイオエタノールや南米のサトウキビ由来のバイオエタノールのGHG（温室効果ガス）の排出量を大幅に下回るバイオエタノール
- ※2 食料と競合しない非食用のバイオマスを原料とするエタノールのこと。対比して、砂糖やでんぷん、植物油等のバイオマスの可食部を原料として製造されたバイオエタノールは第一世代バイオエタノールと呼ばれる。
- ※3 2024年7月22日 NEDOニュースリリース [「バイオものづくり革命推進事業」で8件の研究開発に着手 | ニュース | NEDO](#)
- ※4 2023年2月3日 当社ニュースリリース [「木質バイオマスを原料とする国内初のセルロース系バイオエタノール商用生産およびバイオケミカル製品への展開に向けた協業に関する基本合意書の締結」](#)



- ※ 5 Sustainable Aviation Fuel の略語。持続可能な航空燃料。生産・収集から、製造、燃焼までのライフサイクルでCO₂ 排出量を従来燃料より大幅に削減し、既存のインフラをそのまま活用できる持続可能な航空燃料のこと。

以上